

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和元年度相模原市地域保健医療審議会 保健医療計画推進部会				
事務局 (担当課)		健康福祉局保健所地域保健課 電話042-769-9241(直通)				
開催日時		令和元年10月11日(金) 午後8時から午後8時45分まで				
開催場所		総合保健医療センター A館7階 視聴覚室				
出席者	委員	8人(別紙のとおり)				
	その他	0人(別紙のとおり)				
	事務局	15人(保健所長 他14人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 あいさつ 2 委員紹介 3 議題 (1) 相模原市保健医療計画(第2次後期)の概要について (2) 計画に係る主な事業の進捗状況について 4 その他				

審 議 経 過

冒頭に出席委員の人数が定足数に達していることを確認し、その後、議題について審議した。

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

3 議題について

(1) 相模原市保健医療計画 (第 2 次後期) の概要について

相模原市保健医療計画 (第 2 次後期) 概要版により、計画策定の趣旨、計画の位置付け、計画の期間、基本的な考え方と指標について説明した。

(2) 計画に係る主な事業の進捗状況について

資料 1 により、平成 3 0 年度の主な事業の進捗状況について説明した。

【主な意見等】

高齢者を含む在宅医療をもっと推進してほしい。在宅医療・介護従事者の人材は不足しており、拡充・充実が必要だと考えているが、今回の進捗状況の取組区分は「現状維持」となっている。

「現状維持」の事業について、市では懸命に取り組んでいるところであり、新たに取り組む事業について「拡充・充実」としている。これらに関連する会議でも発言する機会がある場合は意見を出していただきたい。

健康ポイントモデル事業について、「拡充・充実」となっている。今後の取り組みについて、説明をしてほしい。

健康ポイントモデル事業の継続事業として、健活チャレンジ事業を今年の 7 月から開始している。従前の健康ポイントモデル事業では参加者を 1 , 0 0 0 人と限定していた。今回の健活チャレンジ事業では、市内在住で 2 0 歳以上であれば、誰でも参加できるよう対象者を拡大している。前期の期間は毎月いっぱいであるが、後期が 1 1 月から来年 2 月までとなっている。参加方法は 2 つあり、1 つ目は「アプリでチャレンジ」というもので、県のマイ M E - B Y O アプリをダウンロードして登録をするもの。毎日平均 5 , 0 0 0 歩を歩くことで抽選の対象となる。2 つ目は「歩くことが苦手な方」や「スマートフォンを持っていない方」が、健活チャレンジレポート (紙の記録用紙) を使って、自分で設定した目標に 3 0 日以上取り組み、その記録を提出することで申し込みとなる。どちらかの方法で参加すると、インセンティブとして抽選で景品が当たる事業となっている。

市自治会連合会では、この事業を把握しておらず、多くの自治会員にも周知ができるかよいのではないかと懸念している。

現在行っている事業の周知方法は、どのようなものがあるのか。

健康イベントでチラシを配布しているほか、老人クラブや元気倶楽部で配布し、

周知を行っている。今後は自治会への周知も検討していく。

委員の意見を参考に、より広い周知をお願いしたい。

同じようなアプリはたくさんあるが、誰をターゲットにするのかを考えることが一番大事である。今回のアプリは特定健診の該当者が実施すると、自分の健康に反映できるのではないか。逆に既にウォーキングをしている人が歩いても、効果があまり見られない。本当に肥満や糖尿病を改善したい人や、ロコモティブシンドロームを予防するためには非常に大事である。歩けば景品がもらえるという事業とのことだが、ターゲットをもう少し検討する必要があるのではないか。

若い世代から生活習慣病の予防が大切であり、若い世代をターゲットにしている。

ターゲット層について、例えばクリニックで健康指導をする際に事業紹介をするなど、アイデアを出すようお願いしたい。

健活チャレンジの実施期間の期間は令和2年2月29日までとなっているが、来年度以降の継続についても検討をお願いしたい。

今年度から始まった事業であり、来年度に結果等を検証する。引き続き継続できるように検討していきたい。

我々の団体でも、食生活分野は幼児から高齢者までを対象として事業を実施している。子どもや若い世代に健康と食生活について感心を持ってもらえるような事業を実施していきたい。

歯科分野は幼児から妊婦、高齢者までを対象に様々な活動をしている。う歯以外にも歯周病、オーラルフレイルなど健康課題がある。今後も糖尿病等の医療全体と歯科を関連させて健康づくりを推進してほしい。

糖尿病や医療全体についても、歯科の視点から健康づくりを充実させたいと考えている。

薬剤師会では薬物乱用防止啓発事業を実施しており、薬物乱用防止については、子どもの頃からの教育が大切と考えている。学校では、ゆとり教育から非ゆとり教育となり、予防教育の時間が取りにくくなっているが、今後も生徒に対して直接啓発する機会が広がってほしい。また、学校薬剤師を活用して積極的に取り組んでいきたい。

4 その他

会長から市に対し、各委員からの意見等を十分に踏まえ、事業を進めるよう要望され、閉会。

以 上

令和元年度 相模原市地域保健医療審議会保健医療計画推進部会
委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠
1	原田 工	一般社団法人 相模原市医師会	会長	出席
2	土屋 敦	公益社団法人 相模原市病院協会	会長 職務代理	出席
3	大嶺 秀樹	公益社団法人 相模原市歯科医師会		欠席
4	大岡 元	公益社団法人 相模原市薬剤師会		出席
5	渡辺 加代子	公益社団法人 神奈川県看護協会相模原支部		出席
6	牛尾 良一	相模原市自治会連合会		出席
7	松田 正則	相模原市健康づくり普及員連絡会		出席
8	湯田 里子	相模原市食生活改善推進団体 わかな会		出席
9	矢島 いずみ	特定非営利活動法人 神奈川県歯科衛生士会相模原支部		出席